

感謝の気持ちを忘れず

新年を気持ちよく迎えられた年も、年末にじぎむたちと一緒に組保育室を大掃除しました。畳や棚等何もかもテラスに出した保育室を見るとなんだか四月の頃を懐かしく思いました。

今年度から初めて保育者となり、新しいことばかりの毎日で、私は右も左も分からぬままでした。そんな時、いつも子どもたちの可愛さや優しさに救われていました。中でも私の胸があたたまつたエピソードを紹介させていただきます。

ある日の保育中、小指を棚にぶつけ「いたい！」と言っている私に「だいじょうぶ？」と声をかけてくれた子どもたち。頭をなでてくれたり、積み木を聴診器に見立ててお医者さんになつてみてくれたり、ティッシュを持つきて涙拭きうとしてくれたりといつもたちの優しさに胸があたたまつたことがありました。

四月のころと比べて身体も心も成長し、ややるじと、言葉の数も増えています。保育者はじめの成長を支える職ですが、私も子どもたちに支えられていますなど感じます。笑ったり怒ったり泣いたり、お組で過ごす時間は私にとって宝物のような毎日です。そんな毎日を作ってくれる子どもたちにこれからも感謝の気持ちを忘れず、保育者として更に成長していきたいです。

藤田 葵



いちょうの森だより

いちょうの森こども園 園だより No.94 令和8年2月2日発行
〒709-0721 桜が丘東3-3-496
TEL:086-956-2022 FAX:086-956-2023



いちょうの森こども園 HPには、QRコードまたは下記のHPアドレスよりアクセスできます。

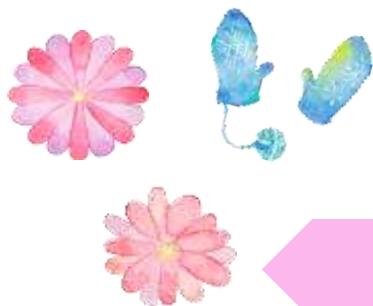
<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

いらっしゃるか！（にじ組）

進級をたのしみに

イスを運んだり歯磨きをしたり身の周りのことを自分でしています。イスの持ち方を伝えると上手に運べるようになりました。食事が終わるとイスを持って行き、最後まで片付けをします。歯磨きも自分で磨けていないところがないか考えながら磨くことができるようになりました。どんどん成長する姿にこどもたちの吸収力の素晴らしさを感じます。

竹林 亜純



クラス自慢（つき・ほし・そら組）



おせち探し！

日本の伝統料理のひとつである“おせち”的ことを知ったり、親しみを持ったりしてほしいという思いから、おせち探しをしました。園内散策をしておせちの食材を見つけていきます。遊びを通して食材の名前や、なぜおせちに入っているのかそのねがいを知ることができます。集めた食材を重箱につめておせちのできあがり。

おせちのことを知ることができたこどもたちは、さっそく給食で黒豆が出ると「おせちに入ってた豆だ！」と嬉しそうに味わっていました。

井上 隆雄

今月のうた（はな組）



♪パンダうさぎコアラ

言葉が少しずつ出てきたはな組のこどもたち。うたも大好きで「パンダウサギコアラ」を歌うと、大人の動作を真似て手を頭や目に当てています。

絵本のイラストを見て「わんわん」と言うなど、発語も増えてきて、コミュニケーションをとるのが楽しいようです。

渡中 有紀子



1月のベストショット（冬ならではのあそび）

けん玉あそび（そら組）

クリスマスプレゼントのけん玉を楽しんでいます。大皿にのせることができが難しそうな様子。諦めずにしていく中でだんだんとコツを掴んできているこどもたち。玉の動きを静めたり、回してみたりとどうしたらできるようになるかを考えて取り組む姿に応援せずにはいられません。

鈴木 美夕

たまをうえに
ひっぱったら
のるらしいよ



のったよ！
やったー！

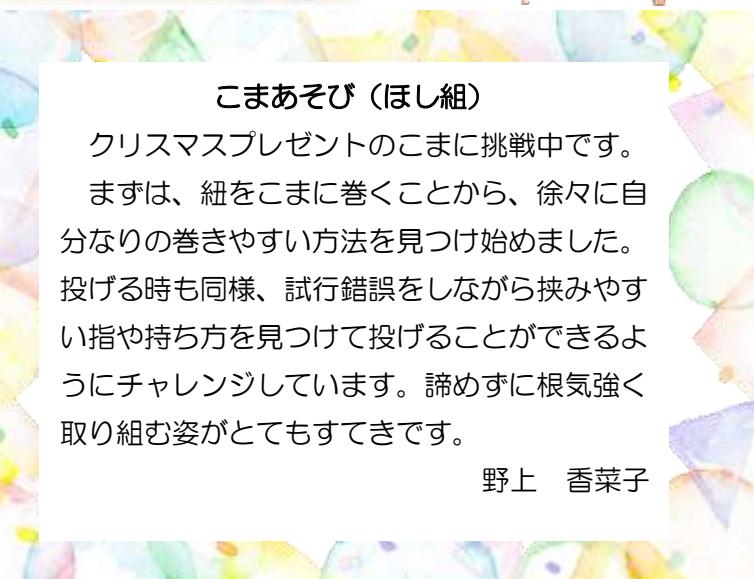


こまあそび（ほし組）

クリスマスプレゼントのこまに挑戦中です。

まずは、紐をこまに巻くことから、徐々に自分なりの巻きやすい方法を見つけ始めました。投げる時も同様、試行錯誤をしながら挟みやすい指や持ち方を見つけて投げができるようにチャレンジしています。諦めずに根気強く取り組む姿がとてもすてきです。

野上 香菜子



冷たいね（つき組）

こどもたちが集まっていたので、保育者も気になり見てみると「ねえ見て、雪があるよ」とAさんが教えてくれました。あったのは雪ではなく、霜でした。保育者が「あ、これ霜だね」と言うと「霜ってなに？雪じゃないの？」とBさん。「寒いとできる氷の結晶よ」と伝えました。

実際に触ってみると「冷たい」「見て、溶けるよ」と、不思議そうに見つめるこどもたち。寒い季節ならではのあそびの中で、氷や雪、霜の感触を楽しみたいと思います。

井上 隆雄

スコップで集めたよ





書き初め（にじ組）

書き初めをしました。円を描く子もいれば、一筆で描いたり、大人の真似をして字のようなものを描いたりと個性の輝く書き初めになりました。書き初めはとんでも囃してもらいました。行事を楽しみながら伝統行事や文化にふれる経験をこれからもしていき、いろいろなことに興味をもてるよう投げかけていきたいと思います。

竹林 亜純

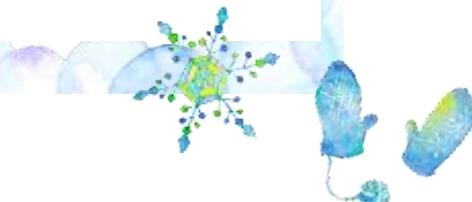


もちつきごっこ（ゆき組）

米粉粘土を使いもちつきごっこをしました。米粉の状態から「なにができるんだろう」と不思議そうに見ることもたち。水や油を入れると大きな一つのもちができる嬉しそうな表情です。もちに見立てた後は、それ好きな食べ物の形にしてあそびました。

手先を使ったあそびを楽しめるようになったり、友だちと「みて」「〇〇は口つくったよ」など会話をしながらあそんだりしているこどもたちの姿に成長を感じます。

藤田 葵



お正月あそび（はな組）

手作りごまで遊びました。大人を真似て自分で回してみようと一生懸命に指先を使って回そうとしています。大人が回すと「お～！」と言って拍手をしたり、回るこまを追いかけていました。年が明けて感情表現が更に豊かになり、表情や身振り手振りで想いを伝えようとする姿が増えてきました。

渡中 有紀子

